

特別活動
「手話で歌おう，心を込めて」

大和市立緑野小学校

単元（題材）目標

- 全校児童が，手話に親しむ。
- 手話が言語であることを意識し，心を込めて手話で歌う。

（1）実施時期

- 10 下旬「感謝の集い（登下校ボランティアへ感謝する会）」
- 7 月上旬，2 月中旬「音楽朝会」
- 3 月上旬・中旬「さよなら6 年生」「お別れ式」

（2）対象（学年等・人数）

全校児童 752 名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：教務，各担任



音楽朝会の様子

（4）実施内容

- 年間3回の音楽朝会のうち，2回（2曲「世界がひとつになるまで」「きみとぼくのラララ」）は，すべて手話をしながら歌った。
- 音楽朝会以外の式や行事で，音楽朝会で練習した歌に取り組み，披露した。

（5）成果

- 音楽委員会の児童が，全校児童の前で手話を披露するため，特に熱心に取り組んだ。朝会の時には舞台上で歌いながら手話を行い全校の見本となった。
- 教務は指導の中心となり，各クラスへ指導に行ったので理解が深まり，どのクラスも朝会の時には上手に手話をするのができ，全校が一体感を持つことができた。
- 4年生では，国語の手話教材と関連して総合的な学習の時間で福祉をテーマに取り組み，講師として聴覚障がいのある方をお呼びした時も，手話の歌に取り組んでいたため手話の動きを覚えており，先行経験として役立った。また，講師の方へのお礼として朝会で歌った歌を手話で披露し，講師の方も喜んでくださり交流することができた。
- 全校児童が1年間通して取り組んだことで，手話に慣れ親しむことができた。